

沖縄総合事務局運輸部 の業務概要

令和 8 年 7 月

内閣府沖縄総合事務局運輸部

運輸部の仕事

運輸部は、国土交通省の地方運輸局の業務を沖縄県内で担う組織です。

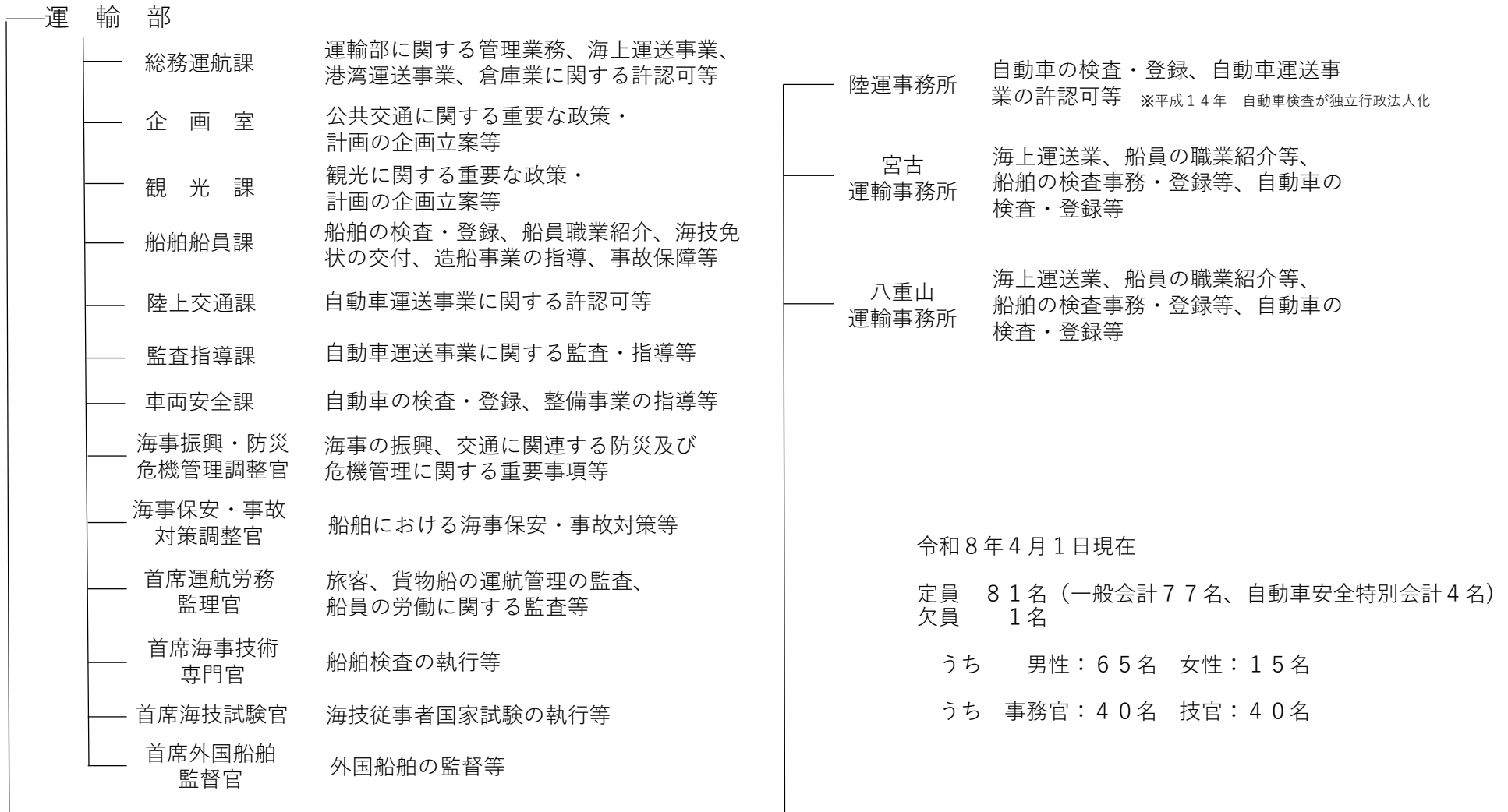
県民生活や観光を支える交通機関の安全・安心を確保するため、船舶、バス、タクシー、モノレール、トラックなどの運送事業に関する許認可や指導監督を行っています。

また、船舶や自動車等の検査・登録業務を通じて、安全対策や環境対策にも取り組んでいます。

さらに、沖縄の基幹産業である観光分野についても、観光振興や地域交通の視点から幅広い業務を行っています。



運輸部の組織（機構図）



沖縄の交通を変える

沖縄では、自家用車を中心としたライフスタイルが広がる一方で、慢性的な交通渋滞や、運輸部門におけるCO2排出量の増加などが課題となっています。

こうした課題の解決に向けて、公共交通の利便性向上や利用環境の改善に取り組むとともに、住民や企業等に対して公共交通の利用促進を進めています。

行政、交通事業者、地域が連携しながら、沖縄の持続可能な交通社会の実現を目指しています。



持続可能な観光地域づくりのお手伝い

沖縄の豊かな自然や文化、地域資源を活かしながら、観光地としての魅力向上と地域の持続的な発展を両立するため、地域と連携した観光振興に取り組んでいます。

観光コンテンツの造成や受入環境の整備、地域交通との連携などを通じて、持続可能な観光地域づくりを推進しています。

～新たな観光コンテンツの造成～
～AT（アドベンチャーツーリズム）～
～ガストロノミーツーリズム～



～再建の途にある「首里城」を舞台にした晚餐～



安全・安心な 交通を守る

バス、タクシー、トラック、船舶などの運輸事業は、県民生活や観光を支える重要な社会基盤です。

運輸部では、事故の未然防止や安全な輸送の確保のため、事業者への監査・指導や安全対策の推進に取り組んでいます。

人々が安心して移動できる交通環境を守ることも、運輸部の大切な役割です。



鉄道・自動車の仕事 (技術系)



鉄道・軌道事業者に対して、安全で安定した輸送を確保するための指導・監督を行っています。

また、モノレール等を運転するために必要となる「動力車操縦者運転免許」の試験も実施しています。

自動車及安全に走行できることに加え、排出ガスや騒音などによる環境への負荷を抑えるため、国では安全・環境に関する基準（保安基準）を定めています。

運輸部では、自動車がこれらの基準を満たしているか確認するため、検査・登録業務を行っています。



船舶の仕事 (技術系)

海事技術専門官（船舶検査官）は、船舶やその設備が安全基準を満たしているか確認するため、各種検査を実施しています。

船舶を初めて航行させる際の検査や、一定期間ごとに行う定期検査のほか、中間検査、臨時検査などを通じて、安全な海上輸送を支えています。

また、海洋汚染防止に関する設備の検査も行っています。



外国船舶監督官（PSC官）は、日本に入港した外国船舶に立ち入り、船舶の設備や乗組員の資格などが国際的な安全基準を満たしているか確認する検査（PSC）を行っています。

海上における人命の安全や海洋環境を守るため、基準に適合していない船舶に対しては、改善指導等を行っています。

職員からのメッセージ（事務系）



現在の職務内容

企画室では公共交通関係からバリアフリー関係、環境関係と幅広い業務を行っています。

私は、基本的に補助金事業の手続きや自治体の交通会議に出席し、随時各自治体の交通の現状を把握し、適切な対応ができるように取り組んでいます。

仕事のやりがい

沖縄の交通課題解決に向けた取組として、内閣府沖縄振興局と共に実施している事業では、交通課題解決の難しさを感じると同時に、少しでも沖縄に貢献できていると感じることができ、そこにやりがいを感じます。

会議や打ち合わせも多く、忙しい時も多いですが、上司や先輩の協力もあり、仕事を楽しみながら進めています。

運輸部
企画室

令和6年4月採用
多和田 莉南（行政）

ある一日のスケジュール

8:25	登庁、業務準備
8:30	業務開始
9:00	メールチェック・返信
10:30	市町村の会議出席
12:00	昼食
14:00	国土交通省とWEB打ち合わせ
16:00	文書処理
18:00	明日の準備
18:30	退庁



現在の職務内容

私は、レンタカー事業の許認可を担当しており、県民はもちろん、観光客にも快適に過ごしてもらえるように自分の仕事に取り組んでいます。

車社会といわれている沖縄の交通基盤として携われていることにやりがいを感じています。

休日の過ごし方

私は、休日を目一杯楽しむことを心がけています。意外と思われるかもしれませんが、社会人として働いている方が、週末に遊べたり好きなことができる時間が増えたと感じます。

事前に予定を組んでいれば、旅行も定期的に行けますし、学生時代よりむしろ楽しいかもしれません。『仕事中は仕事に集中、休日はとことん楽しむ』をモットーに日々取り組んでいます。

陸運事務所
輸送部門

令和6年4月採用
義間 洋介（行政）

ある一日のスケジュール

8:15	登庁、業務準備
8:30	業務開始、メールチェック
9:00	上司と打ち合わせ
10:00	窓口対応
12:00	昼食
13:00	窓口対応
16:00	申請書類審査・許可書作成
17:00	明日の準備
17:15	退庁

職員からのメッセージ（技術系）



これまでの経験

窓口や電話対応、窓口関係の業務改善や研修・説明会の講師等、様々な経験を積むことが出来ました。特に業務改善に関しては、係員である私の意見も積極的に取り入れていただき、より仕事がやりやすくなったことを実感できた良い経験です。

上司や先輩から優しく教えていただけるので、恐れずに色々なことにチャレンジできる良い環境だと思います。

現在の職務内容

自動車整備工場を経営したい方からの申請等の審査業務や現在経営している工場への監査・指導のほか、国家資格である自動車整備士の人材確保に関する業務や、トラック・バス等の整備の責任者である「整備管理者」に対しての研修開催等、自動車整備に関して幅広い業務を行っています。

ある一日のスケジュール

8:15	登庁、業務準備
8:30	業務開始、メールチェック
9:00	申請等の審査
10:30	電話対応・打合せ
12:00	昼食
13:00	整備工場への監査・指導
16:00	監査結果の取りまとめ
17:00	明日の準備
17:30	退庁

運輸部
車両安全課

令和2年4月採用
米須 清大（技術）



皆さんへアドバイス

海事技術専門官、一見すると難しそうな仕事に思えるかもしれませんが、海の経験がない方でも入局後は研修等の教育体制が充実しており、小さな興味や知識がすぐに大海原のように広がっていくので、自然と楽しさややりがいが見出せ、それが沖縄の安全安心な海上輸送にも繋がるので、大きなスケールで社会貢献の達成や喜びが実感できる仕事だと思っています。

現在の職務内容

県内の造船所や各港に赴き、船舶に関する専門的な知識を活かして、船の設備の検査や、検査の基準となる船の大きさを測る業務を行っているほか、海上における危険物輸送や旅客輸送に関する事業者への安全指導にも取り組んでいます。

ある一日のスケジュール

8:20	登庁
8:30	業務開始、メール確認、
9:30	造船所と検査打合せ
10:00	船舶検査、立入検査の執行
12:00	昼食
13:00	図面審査、検査記録の作成等
15:00	事業者からの相談、問合せ対応
16:30	翌日の業務の確認
17:15	退庁

運輸部
海事技術専門官

令和4年7月採用
大滝 亜斗夢（技術）

採用に関する Q & A

Q 採用後の配属先や転勤について教えてください。

A 沖縄総合事務局運輸部、陸運事務所、宮古運輸事務所、八重山運輸事務所のいずれかに配属されます。希望に応じて、国土交通省など県外への異動の機会もあります。

Q 残業や休暇について教えてください。

A 繁忙期や緊急対応時には残業が発生することありますが、効率的な業務運営に努めており、年次休暇も取得しやすい環境です。

Q 育児休業や休暇制度など、働きやすい環境は整っていますか？

A 育児休業は男女問わず取得可能で、実際に多くの職員が利用しています。また、年次休暇も取得しやすく、仕事とプライベートを両立しながら働ける環境づくりを進めています。

Q 独立行政法人自動車技術総合機構とはどのような組織ですか？

A 自動車の検査業務などを行う国土交通省関係の独立行政法人です。運輸部から職員が出向し、業務に携わることもあります。

ご不明な点がありましたら、お気軽にお問い合わせください。
皆さまと一緒に働けることを楽しみにしています。

沖縄総合事務局運輸部 総務運航課 Tel : 098-866-1836



運輸部HP